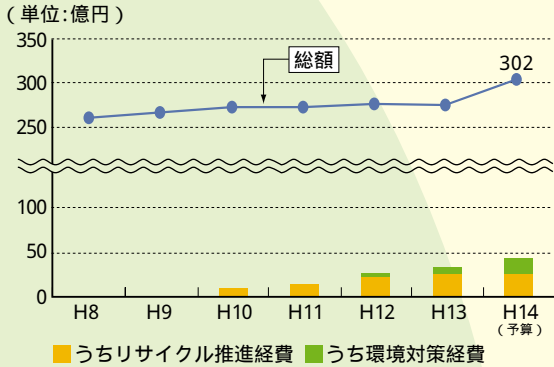


ごみ処理費用(ランニングコスト)の推移

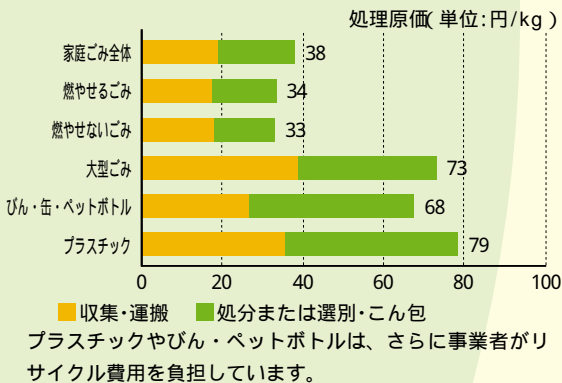
近年、リサイクル推進経費やダイオキシン類などの新たな環境対策経費が増加しており、平成14年度には302億円ものランニングコストが掛かる見込みです。



ランニングコストには、人件費、減価償却費、支払利息などを含まれますが、ごみ処理施設の建設事業費や市債元金償還金は除いています。

ごみ種別の収集・処理原価(平成14年度予算)

プラスチックなどのリサイクルは、資源の有効利用や埋め立て地の延命化に大きく貢献していますが、焼却・埋め立てをするよりも費用が掛かり、大きな課題になっています。



あなたのごみの処理費用は?(平成14年度予算)

市民一人当たりのごみ排出量は年間262kg(平成13年度)。これを処理するための費用

約10,000円

「ごみ排出モニター」の皆さんの平均排出量は、年間134kg(平成13年度後期)。これを処理するための費用

約5,600円

ごみ減量・リサイクルに努めている人のごみも、そうでない人のごみも、同じように税金で処理されています。一人ひとりがごみ減量・リサイクルを進めれば、全体の費用が少なくなります。

ごみ排出モニター

ごみ排出量調査で減量・リサイクルに取り組んだ市民100人。

